

連載

# マイナ保険証の“失態”を追う

～このまま見過すことはできません～

経済ジャーナリスト  
荻原 博子



profile

荻原 博子(おぎわら・ひろこ) / 経済ジャーナリスト。家計に根ざした視点で経済を語る。バブル崩壊直後からデフレの長期化を予想し、現金に徹した資産防衛、家計運営を提唱し続けている。新聞・経済誌などに連載。新聞、雑誌等の連載やテレビのコメンテーターとしても活躍中。近書に「マイナ保険証の民」(文春新書)、「マイナンバーカードの大問題」(宝島社新書)など。

## 第5回 「マイナ保険証」で歯科医院も閉院ラッシュ？！

経済ジャーナリスト・荻原博子さんによる連載「マイナ保険証の失態」を追う。このまま見過すことはできません。運用開始以降、全国でトラブルが相次ぐ「マイナ保険証」をテーマに、経済分野の専門家の視点からマイナンバーカード問題の根幹にあるものや、その行く末についてご執筆いただき、今回は5回目。

### 歯 科医院の倒産、廃業が増えています。

帝国データバンクによれば、今年1月から6月までに負債1千万円以上の歯科医院の倒産ならびに休廃業、解散は合計85件。2000年以降で最多だった23年の年間104件を超える勢いです。負債1千万円以下も含めると、さらに大きな数字になるでしょう。

オーラルケアをする人が増え虫歯が減ってきたことや、自由診療を強化したら高額な治療は増えたけれど逆に患者が減ってしまった、歯科衛生士などの人手不足や歯科医師が高齢になって後継者がいないなど、さまざまな理由で閉院を余儀なくされています。

ただ、原因はそれだけではなく、「マイナ保険証」が導入された影響も少なからずあると推測されます。

政府は、今年9月をタイムリミットとして、医療機関に対するオンラインでのレセプト請求への移行を原則義務化しました。

病院、歯科医院などの保険医療機関



急増する歯科医院の倒産

や保険薬局、審査支払機関や保険者との間で、レセプト電算処理システムで診療報酬等のレセプトデータの受け渡しをオンラインで実施するという方針を出し、紙ベースのレセプト請求は、原則として4月から新規適用を打ち切っています。

### オンライン対応できない医院も

歯科医院のレセプト請求の状況(23年3月処理分)を見ると、オンラインが33・5%、レセプト請求用のファイルを作成してフロッピーディスクやCD-ROM(光ディスク)などに書き込み、支払基金や国保連合会へ郵送する電子媒体によるものが58・6%、紙媒体が7・9%でした。

これを最終的にオンラインに統一するのは、多くの歯科医院にとっては大変革です。

便利になることは確かですが、導入には費用もかかるし、そもそも22年時点で歯科医師の12・6%は70歳以上

(22年)「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」。自分の代で閉院を決めている人もいて、使い慣れない新たなシステム導入に意欲が持てるのかは疑問。全国保険医団体連合会の調べによると、全国の歯科診療所のうち診療報酬をCD-ROMや紙レセプトで請求していたところが1万5千700機関、歯科医院では4万680機関。うち約2割が、「義務化されると廃業せざるを得ない」と回答していて、最大で1万件を超える医療機関が廃業に直面するかもしれない。

しかも、現状の方法に不満を抱いている人も少なく、「コンピュータについては操作方法がわからない」という高齢な医師・歯科医師もいます。厚生労働省のアンケートを見ていて少々驚いたのですが、「パソコンを持っていない」という医師もいました。また、「歯科医師の本業の整備投資にお金がかかるので、これ以上お金はかけたくない」という人もいました。

確かに、オンライン化に慣れてくれば、事務作業も早くかなり合理化されるかもしれませんが、それには疑問があります。ただ、急がざるを得ないのは、政府が今年12月2日に新たな健康保険証の発行をしないと決めてしまったからでしょう。

国はこれほどまでにオンライン化を急ぐのでしょうか。その背景には「保険証の廃止」と、国が目指す「医療DX」の構築があります。「医療DX」については別の機会に詳しく書きますが、要は国のご都合主義で医療現場の都合は考えず、振り回し、閉院も破綻もお構いなし。つまり、「現場に、顔が向いていない」といってかまいません。

**現場で役に立つ“本作り”**  
を目指しています。

<b>歯科医療事務 症例と解説</b> 	<b>カルテの手引き</b> 	<b>歯科アシスタント MY BOOK</b> 
-------------------------	--------------------	-----------------------------

お求めは **アイテックサービス** 〒108-0073 東京都港区三田3-4-6-801 ☎03-3798-1778 FAX03-3798-8505

3	水	第4回経営管理部会	17	水	院内感染防止対策講習会、休保審査会(医科)
5	金	第4回総務会議	18	木	会員無料相談デー
7	日	新規開業医講習会	19	金	第4回政策委員会
8	月	第4回地域医療部会	23	火	第5回財政部会
9	火	第4回共済部会、オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟第7回口頭弁論、記者会見兼説明会	24	水	会員地区懇談会(多摩地区)、第4回「保険で良い歯を」東京連絡会世話人会
10	水	第3回理事相談部会、受託生保会議	26	金	第8回理事会
11	木	第2回メディア懇談会、第4回広報・ホームページ部会	27	土	「保険でよい歯を」東京連絡会2024講演会、休保審査会(全国)
12	金		28	日	第2回施設基準のための講習会
16	火		31	水	第4回組織部会

協賛日誌 2024年7月



本連載を Web で読む

## 理事会だより

2024年度 第6回・第7回 理事会

### ◆第6回理事会◆

6月28日(金)、午後8時00分～9時50分。会長、副会長5名、理事13名、監事2名、事務局5名の出席。

【情勢報告】 抗菌薬の出荷制限、新生権裁判結果、2023年「診療行為別統計」の結果などの報告を確認。

【運動課題】 保険証交付についてのパブコメを会員に案内、全国で5万

件を超えるパブリックコメントが提出されたこと、改正法案は示されず、おらず公布日が7月上旬、施行期日が12月2日とされていることの報告を確認。

【保回連会議関連】 第1回保回連代議員会に発言通告を4題提出したことを確認。

【定期総会のまとめ】 参加者数、総会に寄せられた祝電・メッセージ、

7月11日(内)、午後7時

お礼状の発送などを確認。 【政策課題】 今次診療報酬改定の改善要望について議論。ベースアップ評価料の届出・算定について、協会としての立場、見解を議論した。改定財源として割り当てられたベースアップ評価料を活用するために届出を促すことについて意見と、賃上げ分として使

【診療報酬改定対策】 改定情報、ベースアップ評価料の施設基準の届出状況の報告を確認。

【各都検討課題】 施設基準に関する追加研修への対応、「絵で見る色で

わかる 歯科の感染対策」改訂版作成などの提案を確認。